

(I) 国際理解教育

【現状と課題】

グローバル化が進む国際社会において、日本人としての自覚を持ち、主体的に生きていく上で必要な資質や能力の基礎を培うため、国際理解教育を推進することは重要です。

各学校では、ALT¹とのチーム・ティーチングによる授業などを通して実践的なコミュニケーション能力を高めたり、地域に住む外国人を招いて異文化体験を行ったりするなどの実践的取組が広がってきていますが、単なる体験や交流活動に終始するなど、深まりのない取組となっている例も見られます。

【これからの施策の方向性】

学校段階において、これからの国際社会において自ら思考し判断することのできる国際感覚を持った児童生徒の育成に努めます。

【主な取組】

国際理解教育についての実践的な授業づくりに役立つ情報を提供するなど、学習方法・内容の改善・充実に取り組みます。

各小中学校の「国際理解教育の全体計画」の一層の改善を促進します。

各学校において、ALTを活用し、外国の言語や文化に対する理解を深める取組を推進するなど、国際理解教育の充実に努めます。

必要に応じて青年海外協力隊や海外からの留学生を受け容れる外部機関等と連携し、学校に人材を派遣することにより国際理解教育を支援します。

国際理解に関する学習内容を学力調査等で出題し、その結果を踏まえて、各教科等の取組の改善・充実に努めます。

1 ALT：ALTとは、Assistant Language Teacherの略。外国語指導助手。教師と協力してチーム・ティーチング(協同授業)等を行う外国人のことを指す。